



通信

HP 学校だより

R8.1.21

NO.35

文責 伊藤美佳



豊坂っ子自慢の「なわとび」

1月になると豊坂小学校の風物詩である「なわとび」が本格的に始まります。なわとび大会では、それぞれの学年で種目が決まっており、その種目のスペシャリストを目指して、個々に練習をしています。先日、1年生の子が「先生、あやとびが跳べるようになったよ」と報告してくれました。できなかったことが、練習してできるようになった喜びは計り知れないものだったのでしょう。喜びを多くの人と分かち合うことで、意欲が高まり、練習にも力が入ると思います。子どもたちにとって「なわとび」は、人と比べるものではなく、自分で目標に向かって努力し、達成できる喜びを味わうことのできるものなのでしょう。

1月20日(火)のさわやか集会では、「なわとび」の得意な子たちが全校の前で技を見せてくれました。こうやって、身近に「あこがれ」の存在がいることも、とてもすてきなことだなと思います。豊坂っ子の自慢の一つである「なわとび」が、これからも続くことを期待します。



厳しさを乗り越えた先に

校内書き初め会の表彰は2月になってしまいますが、各学年の代表者の作品は、町民図書館ギャラリーで20日(火)から27日(火)(午後3時)まで展示されています。ぜひ、お子様といっしょにご覧いただければと思います。

さて、1月20日は「大寒」でした。一年で一番寒い時期です。ちょうどそこに合わせて冬将軍の到来がニュースで流れています。しかし、次に訪れるのは「立春」です。この季節の分かれ目が「節分」です。もうすぐ春がやってくるからこの寒さも耐えられます。また、寒さがあるからこそ、春の暖かさをより一層うれしく感じられるのだと思います。厳しい時期を耐え抜くことで、より美しい花を咲かせる、人も同じかもしれません。

先日、町民会館で『リトルプリンス』というミュージカルが上演されました。そこでは、役者として舞台に立つことはできませんでしたが、幸田町出身の人が劇団員として参加していました。その人は、ミュージカル俳優になりたいという夢をもって、一昨年に劇団に入ったそうです。そんな話を聞くと、豊坂っ子が自分の好きを見つけて、好きでい続けることを願わざにはいられませんでした。厳しさが待っているかもしれません、その先の春に向かって、乗り越えていってほしいです。『リトルプリンス』というお話は、サン=テクジュペリが書いた『星の王子さま』が原作です。お話の中できつねが王子さまに「本当に美しいものは、目には見えないんだよ」と伝えるシーンがあります。豊坂っ子が、心の目で本当に美しいものをたくさん見て、感じてくれることを願っています。